

医療保険の怪

入院時平均費用を鵜呑みにするな！

林健太郎
林FP事務所

ポイント

1. データ元

- 令和元年度「生活保障に関する調査」（生命保険文化センター）
- <https://www.jili.or.jp/research/report/chousa10th.html>

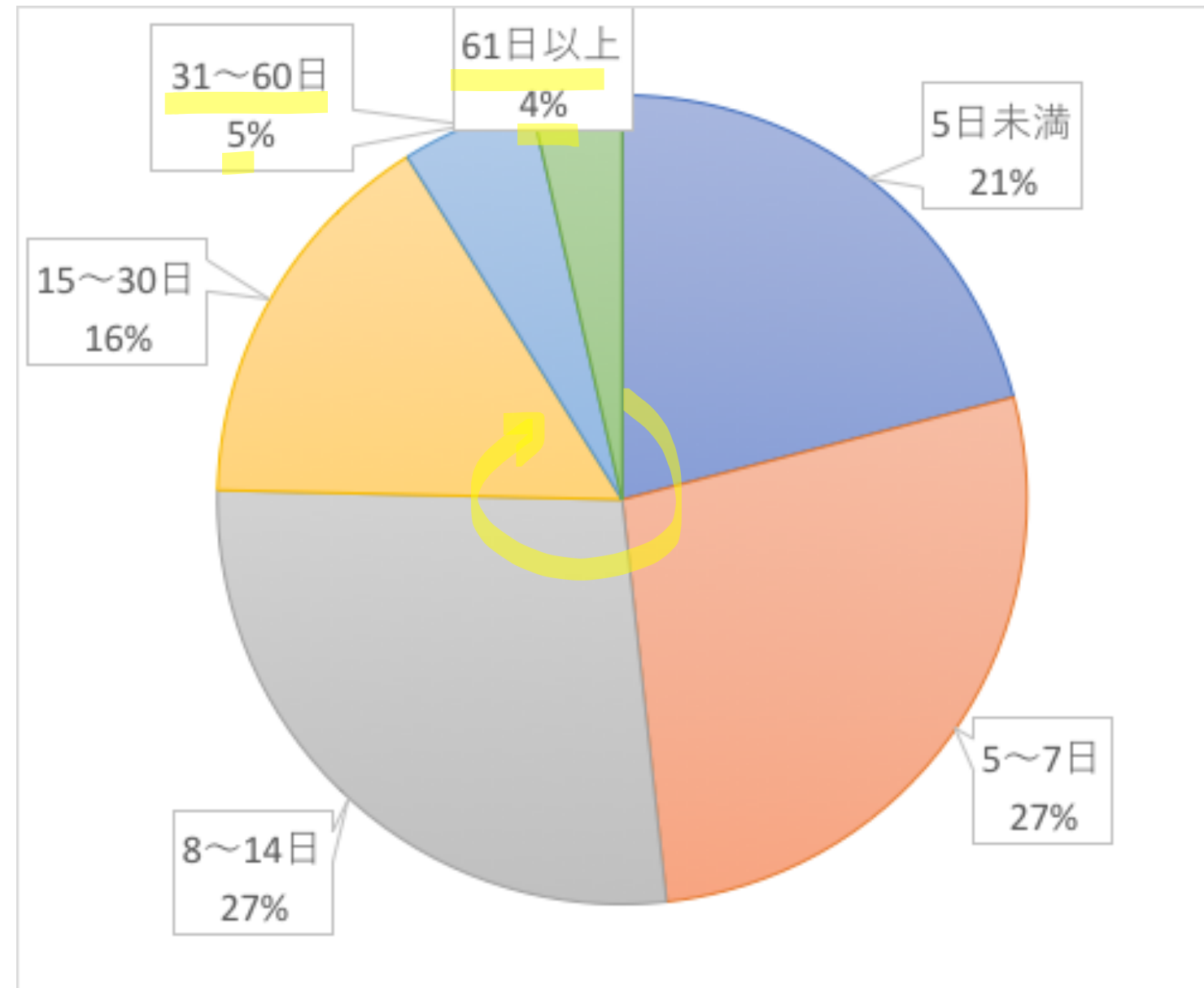
2. 入院日数の短期化がどんどん進んでいる

- 平均15.7日
- 31日以上の入院は9%と1割未満

3. 入院時平均費用には「落とし穴」がある

- 高額療養費制度を使っていない人の自己負担額を含む
- 食費は名目ほどはかからない
- 医療費控除も使える

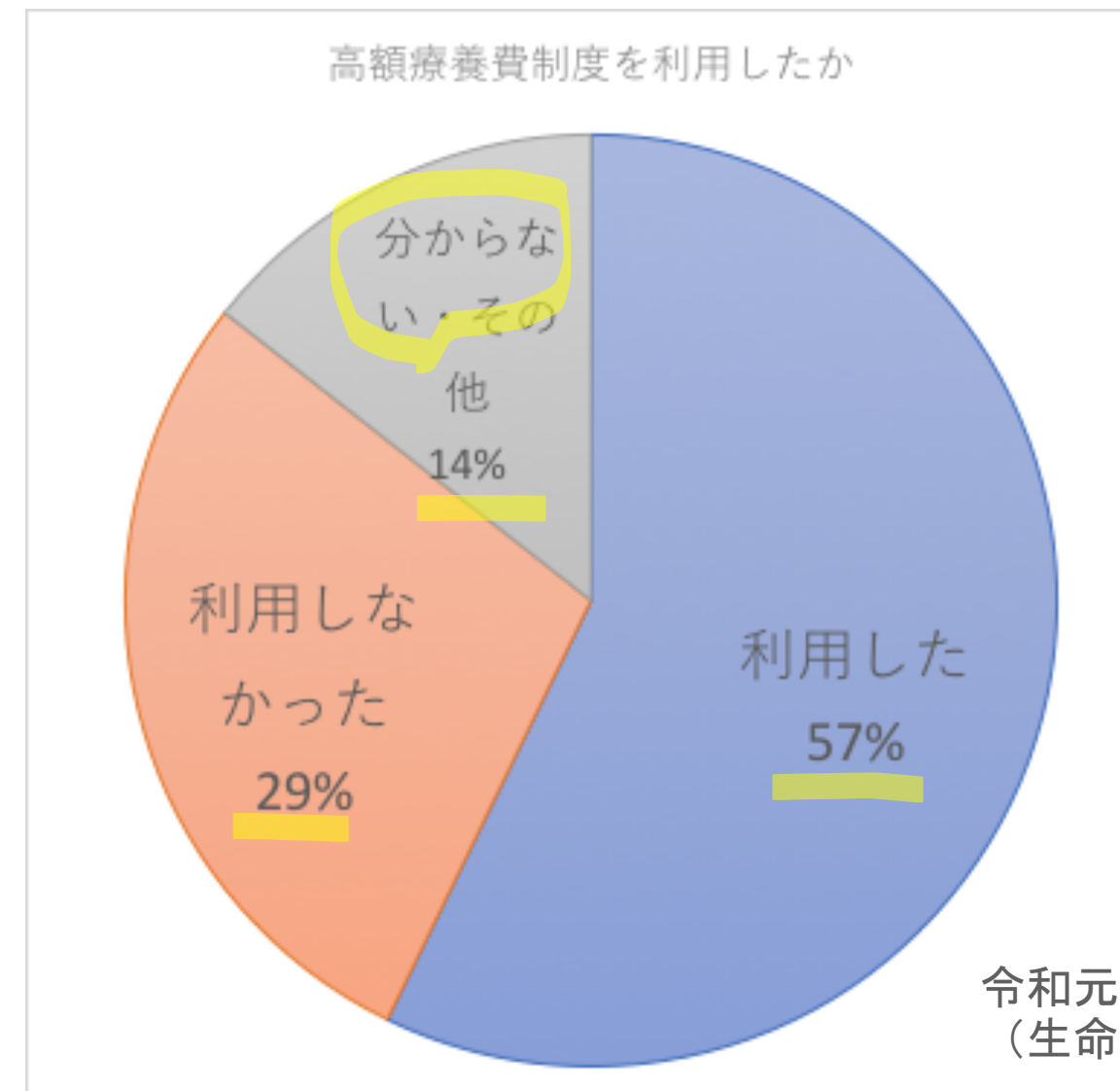
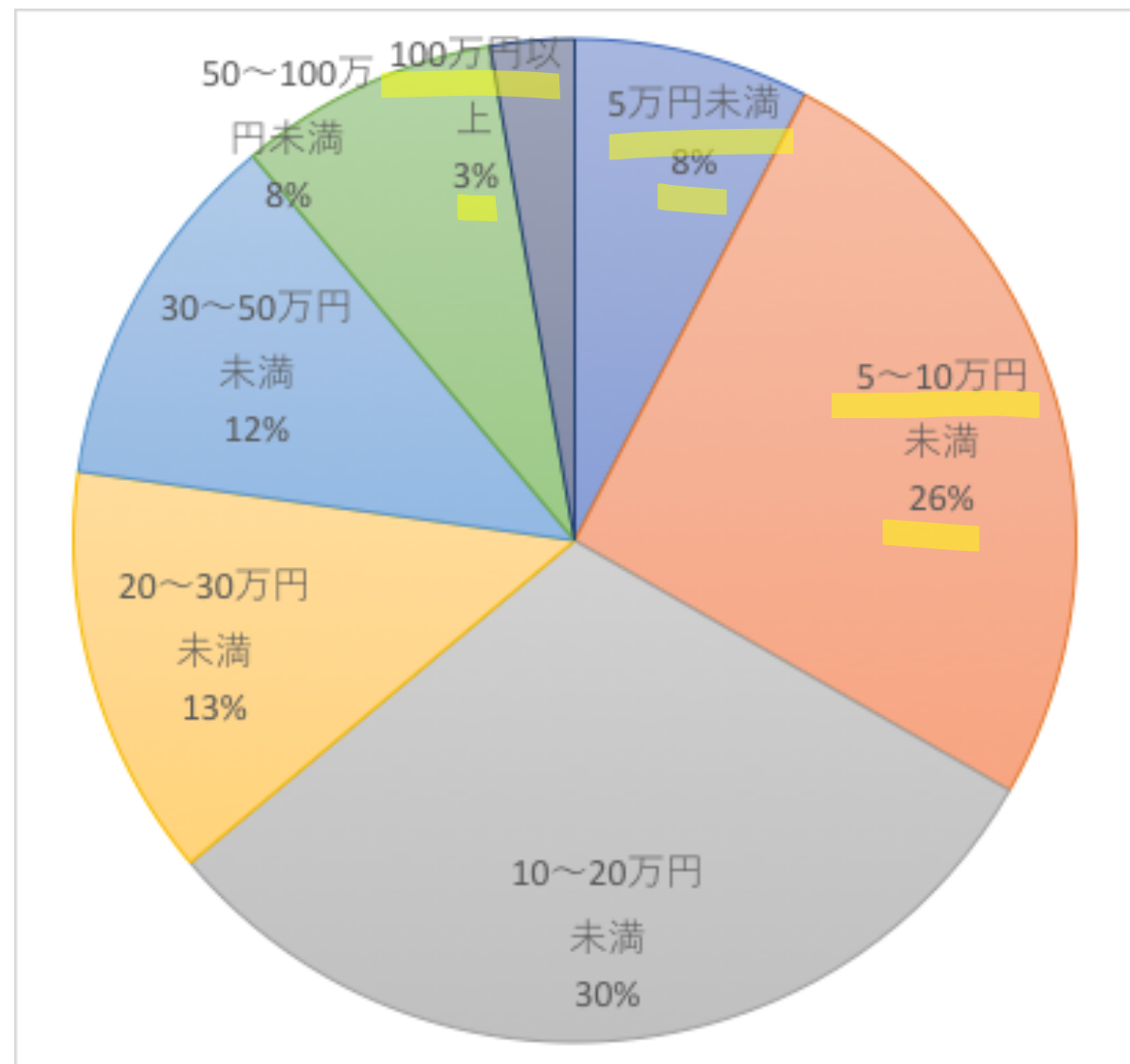
入院日数の短期化



令和元年度「生活保障に関する調査」
(生命保険文化センター) より著者作成

- 平均入院日数15.7日。31日以上は約9%
- 高齢になるほど長期化しやすい
- 長期入院に備える=民間保険必要、ではない（その前にいろいろできる）

入院時の平均自己負担費用



令和元年度「生活保障に関する調査」
(生命保険文化センター) より著者作成

- 平均20.8万円、1日2.3万円。ただし高額療養費制度をフル活用しているか？
 - 高額療養費制度利用の場合、現役、一般→8万円強
 - 年収高いほど利用率低い
- 差額ベッド、交通費、食事代(1食460円、30日分41,400円)、衣料・日用品含む
- 多数回該当(12ヶ月で4回目以降)の医療費はさらに半額程度(44,400円)へ下がる
- 旅行などもしなくなる…。ライフプラン全体で考える。

高額療養費制度（参考）

<70歳未満の方の場合>

所得区分	1か月の負担の上限額
上位所得者（月収53万円以上の方など）	150,000円＋（医療費－500,000円）×1%
一般	80,100円＋（医療費－267,000円）×1%
低所得者（住民税非課税の方）	35,400円

高額療養費制度を利用される皆様へ（厚生労働省保健局）パンフより抜粋

- 過去2年さかのぼって申請できるので、忘れていた方は必ず申請を。

まとめ

1. データには「落とし穴」がある

- 保険セールスの言葉だけで判断せず、数字の意味を知ることが大切。自分で調べたりセカンドオピニオンを求めるなどが有効

2. まずは公的保険などを使い倒そう

- 高額療養費制度は申告しなければ使えない
→自己負担額が大きくなったり、医療費負担が長期化する場合は必ず利用を検討しよう
→月初から月末が請求単位なので、計画的な入院なら月初からがお得
- 医療費控除も使える

3. それでも追加で医療保険を検討するなら...

- 公的保険がカバーしない部分（先進医療技術料等）をまかなう
- 団体割引保険を検討する
- 可能な限り免責日数を長くとる

プロが教える資産形成の入門書 無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://xn--vck0b9h632vz0vb.jp/presentpdf>

林健太郎
林FP事務所